

北区自治協議会 部会会議概要

地域づくり部会 p. 1-2

福祉教育部会 p. 3-4

自然文化部会 p. 5

第 20 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	平成 31 年 2 月 21 日（木曜） 午後 2 時 40 分から午後 3 時 40 分
会 場	北地区コミュニティセンター 和室
出席委員	本間（久）部会長、阿部（恵）副部会長、倉島会長 阿部（康）委員、阿部（淳）委員、五十嵐（隆）委員、川島委員、 本間（藤）委員、山賀委員、小林委員
欠席委員	上松委員
事務局 関係課	建設課長、産業振興課長、地域総務課（中川、高野、深沢）
会議要旨	<p>1 平成 30 年度自治協議会提案事業について</p> <p>「ノーザンミュージックフェスティバル 2018」事業評価について 阿部(淳)委員から 1 月 30 日（水）に行われた第 5 回実行委員会について説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 月 30 日の実行委員会で会計報告し承認され委員会は解散した。 ・ 実行委員からは反省点として厳しい意見もいただいたが、来場者アンケートからはおおむね高評価をいただいた。 ・ 開催日当日台風接近のため、外部イベントを中止した。その分の会場設営費が少なくなったため余剰金が発生。余剰金は規約に基づき、市へ返金した。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽のジャンルが多様で全てを聞くことは難しかった。 ・ タイムテーブルが発表されなかったため、来場者から不満の声が聞かれた。 ・ 県内外から来場いただけたイベントであった。 ・ 北区を音楽から元気にとということで、市民の交流や地域活性化を考えたイベントであった。 ・ 台風が心配される中、安全を考慮しイベントを縮小することとなったが、工夫して実施された。 <p>⇒事業評価書の案について、内容を確認し意見交換を行い了承された。</p>

2 平成 30 年度自治協議会提案事業について

「地域防災力向上事業」事業評価について

事務局から同事業の報告が行われました。

- ・区全体で防災士は 22 人、すべての地区に防災士がいることになった。
- ・2 月 22 日にフォローアップ研修を開催する。新年度の取り組みを検討する。

[主な意見]

- ・先進市の様に、防災士の人数を今後も増やし、各地域で活躍されることを期待する。

⇒事業評価書の案について、内容を確認し意見交換を行い了承された。

3 その他

3/20 市長との懇談会における部会活動の説明について

事務局から説明がありました。

- ・市長との懇談会で部会長から第 6 期の部会の活動を説明いただくこととなった。(資料確認)

自治協議会だより(第 6 期総集編)について

事務局から説明がありました。

- ・3 月末に新聞折り込みで全戸配布予定。自治協の周知に努める。
- ・今年度の市民世論調査で、自治協をよく知っている割合(18.2%)が、8 区中北区が一番高かったが、知らない人(48.2%)も多くいる。今後も周知に努めたい。

第 2 0 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	平成 31 年 2 月 21 日 (木) 午後 2 時 40 分～午後 3 時 35 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	渡邊 (正之) 部会長、梅津副部会長、五十嵐 (紀子) 委員、工藤委員、曾我委員、若月委員、高橋委員、真壁委員、村中委員、岡委員
欠席委員	なし
事務局 関係課	健康福祉課長、北出張所長、豊栄地区公民館長、北区教育支援センター所長、地域総務課 (本田、吉澤、大久保、佐藤)
会議要旨	<p>1 平成 30 年度自治協議会提案事業「区民の一体感醸成プロジェクトーみんなの区役所づくりー」について</p> <p>事務局より、第 2 回ワークショップ検討会 (1 月 17 日開催) の報告を行いました。また、事業評価書について、現時点の案を確認し、今後、部会長と事務局で細部を詰めて作成することについて了承されました。</p> <p>→ワークショップ検討会に関する意見等は下記のとおり。</p> <p>→事業評価書 (案) に関する意見等なし。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流スペースの基本レイアウトについて、普段は交流の少ない団体同士が一堂に会して話し合うことができた点は、非常に有意義だと思う。 ・ 同スペースは自由度が高い空間だ。今後も、区民からソフト事業や使い方の提案が寄せられることを期待したい。 ・ ワorkshop検討会の開催により、自由に意見を話し合える場ができたこと自体が評価に値する。 ・ 自分の家の間取りを考えると悩みは多かったが、区全体のことを思慮に入れながら同スペースを検討するのはさらに大変だった。 <p>2 平成 31 年度自治協議会提案事業「全てのママ・パパ応援プロジェクト」 「大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業」について</p> <p>事務局より、事業の進め方や今後の予定等について説明を行いました。</p> <p>[主な意見]</p> <p>「全てのママ・パパ応援プロジェクト」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト作成を優先的に行いたい。配付方法等については、部会をはじめ関係機関と協議しながら検討していきたい。 <p>「大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配付資料記載の介護セミナーについて、“家族の” 負担軽減のみが強調されているように感じる。新潟医療福祉大学では、一般の介護施設等に就職する学生も多くいる。家族間に限定しないほうがよいと感じる。

3 3月自治協議会資料「第6期北区自治協議会の取り組み」の確認について

事務局より、資料案の説明を行いました。現時点の案を確認し、今後、部長と事務局で細部を詰めて作成することについて了承されました。

→意見等なし。

第 21 回 自然文化部会 会議概要

日 時	平成 31 年 2 月 21 日 (木曜) 午後 2 時 40 分～午後 3 時 40 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出席委員	若尾部会長、阿部 (美) 副部長、赤間委員、渡邊委員、川居委員、後藤委員、松田副会長
欠席委員	内川委員、高口委員
事務局 関係課	区民生活課長、産業振興課 (西脇)、地域総務課 (宇野、貝瀬、高田)
会議要旨	<p>1 平成 30 年度 福島潟の魅力発信事業について</p> <p>ラムサール条約登録への機運醸成展示について、パネル・パンフレット (案) の確認・検討を行いました。また、環境政策課職員より、2018 年の締約国会議で湿地都市認証が行われたことや新潟市も候補になりうるなどについて、説明が行われました。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「登録予定候補地」など難しい熟語が多いので、子どもでも読めるようにやわらかい言い方にした方が良い。 ・パネル 1 枚目のタイトルは「ラムサール条約って何？」より「ラムサール条約湿地登録を目指す福島潟」の方が、見る人に伝えたいことが伝わるのではないかと。 ・専門用語が多く学術的に感じる。ある程度略しても良いのではないかと。 ・文字の色や大きさを工夫して、より見やすいものとした方が良い。 <p>2 平成 30 年度自治協提案事業の評価について</p> <p>事業評価書案について、内容を確認し了承されました。</p> <p>3 平成 31 年度委員提案事業について</p> <p>「潤いの福島潟創出」事業など、次期部会への引継ぎ事項について、意見交換を行いました。</p> <p>[主な意見・提案]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの内容などについては、次期メンバーに決めてもらう。 ・福島潟の活用を検討するにあたっては、食事を提供する機能など、観光客や家族連れへの配慮が必要。 ・水の駅「ビュー福島潟」やその周辺で、長時間見たり楽しんだりできる場所をつくり、滞在時間を延ばせると良い。